

第 12 話：アビイちゃん、減薬大詰め！背中に愛を乗せて

今日はアビイちゃんの受診日。

毛並みは一面に薄茶色の草原。

あれほど目立っていた剥げも赤味も、いまや過去のもの。

どこが脱毛していたのか、よく見ないとわからないほどになりました。

それでも、心配は尽きません。

最近、トイレには朝晩、カレーのような濃いペースト状の便が、楕円形に残されるようになりました。

そして、以前よりも食べる速度がゆっくり。

食欲はあるけれど、少し気がかりです。

先生は言いました。

「この子の生来のものか、お薬の影響か。ステロイドは関係ないと思うけれど……」
そして、少し考えてから「下痢に効くお薬を出しましょう」と、5日分を処方してくださいました。

今度は、ステロイドの話に差しかかります。

「うーん、なくしますか」

と先生。思わず「えっ」と驚く私。

その顔を見た先生は

「じゃあ、2日に1回、4分の1錠で。ただし……効いているのか、という問題は出ますね」

でも私は、迷いなく答えました。

「私の安心材料として、2日おきでお願いします」

このように、減薬もいよいよ大詰めに入りました。

さらに、「ずっと飲み続ける」と言われていたアトピカについても、先生から

「今後の理想は、週に2日程度」「ただし、あくまで長期的な理想ね」
釘をさされながらも、希望が見えてきました。

そんなやり取りの最中、

なんとアビイちゃん、先生の背中にぴょん！と飛び乗りました。

しかも、きれいに刈り上げられた美しい生え際を、ペロペロ。

首筋に頭をすりすりさせて、親愛の情を惜しみなく表します。

先生は、びっくりして背中に手を回しつつも、満面の笑顔。

「肩に乗った子は初めてです」

「こんなにフレンドリーなアビシニアンは初めてですよ」

アビイちゃん、どこまでも、あなただけのやり方で、心を届けてくれるんだね。れるんだね。